

事務事業名		34900	幼稚園就園奨励事業(第3子)	予算科目	会計	款	項	目	担当班	庶務班
実施体系		基本施策	7	子育て支援の充実	根拠法令	旭市私立幼稚園第3子以降就園補助金交付要綱	10	1	2	事業種別
施策の展開		16	子育て世帯への経済的支援	戦略事業	89	第3子以降保育料等の無料化				☒ 主な事業(重点施策) 重2 ☐ 国土強靱化地域計画 ☐ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☒ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 26 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		・市内私立幼稚園に就園する園児の保護者に対して、子育て支援事業の一環として、幼児教育事業の社会的な重要性を考慮し、保護者の経済的負担の軽減を図ることを目的とする。 ・補助の対象となる経費を、入園料、保育料、給食費とする(ただし、補助できるのは就園奨励費補助金適用後の額。) ・18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある児童を3人以上養育し、私立幼稚園に就園する第3子以降の園児を有する市内在住で住民基本台帳に記載のある保護者を対象とする。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	
子育て支援の一環として、市内保育園の第3子以降の保育料が無償化になることに伴い、幼稚園についても足並みを揃えて、多子世帯の経済的負担を軽減するため補助を行うこととした。従来から実施している就園奨励費補助金よりも、カウント児童の年齢を引き上げ、対象経費についても拡大している。		就園奨励費補助金では対象外となっていた園児や、兄弟と年齢が離れていたがために、第1子としてカウントされていた園児の保護者について、市の補助金で経費の補助が大幅に増加することになった。平成29年度から、新制度への移行により対象となる幼稚園が旭幼稚園の1園になる。	
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等		就園奨励費補助金と混同してしまうことがある。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(30年度の決算)		単位	千円	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)
1.負担金補助及び交付金	0	千円		0	0	0	0	0
2.幼稚園第3子以降就園補助金	1,498	千円		6,467	1,829	1,735	1,498	1,847
② 特定財源の内訳(30年度の決算)		単位	千円					
1.国庫支出金	0	千円						
2.都道府県支出金	0	千円						
3.地方債	0	千円						
4.その他	0	千円						
事業費計(A)		千円		6,467	1,829	1,735	1,498	1,847
1.国庫支出金		千円						
2.都道府県支出金		千円						
3.地方債		千円						
4.その他		千円						
5.一般財源		千円		6,467	1,829	1,735	1,498	1,847

前年度増減理由	該当園児の減により、補助金も減少した。
---------	---------------------

従事職員数 常時 1 人 最大 人 × 日 = 延べ 0 人

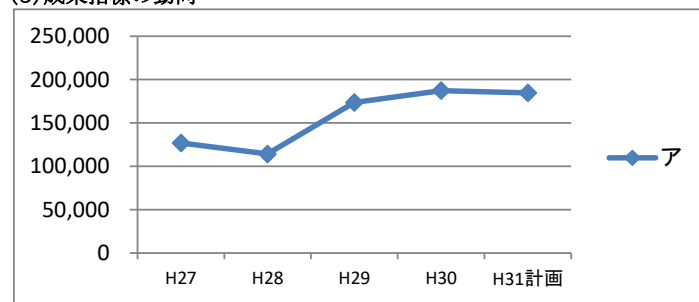
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
	30年度実績(30年度に行った主な活動) 就園奨励費補助金の調書を基に、第3子以降の園児がいる家庭を抽出し通知を出す。保護者から交付申請書等の書類を受け、直接、保護者に補助金を交付する。	ア 補助金交付件数(対象園児数)	件	53	16	10	8	10
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	イ 『すくすく育てあさひっ子』、HP、広報等掲載回数	回	2	2	2	2	2
	対象意図 第3子以降の園児を有する保護者 多子世帯の保護者の経済的負担を軽減する。	④ 成果指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
意図	対象意図	ア 対象多子世帯1件当たり補助金交付額	円	126,804	114,313	173,500	187,250	184,700
	対象意図	イ						

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	成果向上余地	評価結果	コスト比率
	かなりある		下位 1/3
大きい		①	上位 1/3
普通	⑤	②	中位 1/3
小さい		③	
		④⑤	(4)
		⑥	
		⑦⑧	
		⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	比較
	【コメント】(低下の場合、その理由)	成果指標イ				ア 2.325 △12,491 59,187 13,750 △2,550 イ
③ 今年度取組事項(31年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容	今後の方向性	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 見直し ☒ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他()	
R2.3			就園奨励費補助金の調書を基に、第3子以降の園児がいる家庭を抽出し通知を出す。保護者から交付申請書等の書類を受け、直接、保護者に補助金を交付する。	R元.10	R元.10からの幼児教育無償化により、10月分以降については、就園奨励費補助金で対象外となる園児が減少するので、対象経費も縮小する。	